

絵手紙交流inフィレンツェ
イタリア絵手紙9日間の旅

募集中

2023年11月15日(水)~23日(木)9日間

絵手紙の展示や体験教室を通じて文化交流できる「フェスティバル・ジャポネーゼ」に参加します。他にも観光や世界遺産スケッチなどのお楽しみもたくさん。ぜひご参加ください。詳細は28頁をご覧ください。

プラス+1 講座

二人の師から学んだ生き方

2023年9月1日(金)

講師：成沢悦子(日本絵手紙協会公認講師)

会場：大阪・絵手紙ホール

5月に東京、6月に大阪で開催した講座の追加開催です。

詳細は80頁をご覧ください。



石倉次枝(福岡)
幼い時に母が作ってくれたふんわり甘い玉子焼、口にいれると幸福な気持ちになりました。



広瀬正子(富山)
どんなに馳走もみそ汁がないと物足りません。



佐藤恵子(北海道)
北海道の小豆は美味しいです。



中村知子(香川)
主人が大事に育ててくれた空豆、美味しくいただきました。寿命が75日のびました。



山下伸子(岐阜)
故郷を離れても食べたくなる、自分の家の味が1番です。

ひろばテーマ
「1番好きな食べ物」より

- 78
- 77
- 66
- 56
- 54
- 36
- 34
- 32
- 30
- 29
- 28
- 26
- 20
- 07
- 06
- 04
- 02
- 01

もくじ

巻頭ことばの旅

古拙微笑

読者投稿ひろばより

登坂和雄の一語一絵(逢)

山田喜代春の詩画世界

特集◎あなたに出会えてよかった

「絵手紙友だち」の見つけ方

【報告】第36回絵手紙友の会全国大会in水戸

2023年度「絵手紙友の会」募集

絵手紙交流inフィレンツェ

イタリア絵手紙9日間の旅

木もれ日「モチーフを探して日々奮闘！」 村上里美

柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎

手紙のヒント 中川越

自分の道を歩く——相田みつをの言葉

読者投稿ひろば

テーマ「1番好きな食べもの」

自由絵手紙/なんでも1000字/活動報告

essay アーサー・ビナーズ

誌上レッスン 絵手紙教室

◎小池邦夫の絵手紙教室

◎兼岩幸恵の小さくても一歩

「くり返し視る、くり返し聴く」

◎阿部祥子のどんだん動いてどんだんかいてどんだん学ぼう

「絵手紙の墨は魔法」

「節気を感じて」「ときめく暮らし」

脳活クイズ 結城俊也/報告協会日より

◎日本絵手紙協会からのお知らせ

76 展覧会のご案内

79 講座のご案内

82 あなたの街の絵手紙情報(展・体験/脳活クイズ(解答))

83 寄贈のご報告

84 投稿の募集要項・絵手紙年賀状 大募集

86 小池邦夫絵手紙美術館 ニュース

88 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより

90 日本絵手紙協会・推薦教材

92 ボランティア部からのお知らせ

93 日本絵手紙協会へのアクセス

94 「絵手紙友の会」からのお知らせ/編集後記

95 「月刊絵手紙」定期購読のご案内

96 ご注文方法

次号予告 エッセイにチャレンジ!

〈表紙の絵手紙〉 あんみつ：永岡幸子(三重) アンズ：富田弘子(神奈川) おにぎり：豊秋孝子(石川)



日本絵手紙協会の
ホームページはこちら



公式Instagram
etegami_society



公式Twitter
@Etegamii_Society



加藤あち子(宮城)



前納正道(三重)

月刊絵手紙2023年8月号

特集

あなたに出会えてよかった！

「絵手紙友だち」の 見つけ方

感謝してもきれいなほどの素晴らしいご縁、
しょうがないなあ〜のくされ縁、ムムム…これ
は運命だなと感じる縁まで、縁にもさまざまあ
れど、手がきの絵手紙でつながるご縁は、素直・
素颜・素朴の素が**す**っぱいの、素敵なお縁。

今月は、絵手紙交流の原点ともいえる「絵手紙
友の会」の皆さんに、「見知らぬ人とどうやって
友だちになるのか？」についてヒントをいただき
ましょう。



読者投稿

かいて、送って、
みんなでおしゃべり

ひろば

テーマ

「1番好きな食べもの」

スイーツ、果物、寿司etc……美味しいものは笑顔と元気のもと!

自由絵手紙／なんでも100字／活動報告



谷口久栄(奈良)
ごはん1杯目はまず刺身で、2杯目が大好きなお茶漬け。これがたまりません。



森 加代子(広島)
母直伝の食べ方です。どうして好きか……おいしいから。



後藤敦子(大分)
柔らかくてチーズみたいな濃厚な味が好きです。



川畑信子(福岡)
母が得意だった巻き寿司の味が忘れられません。



前田利子(宮城)
バニラソフトクリームって、初めて行った町なのに「昔ここで食べた」って思わせる不思議な力を持っている。



山田みさよ(新潟)
新潟といえば笹団子。子どもの頃から食べていて大好きです!



画仙紙 ほぼ原寸

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいいヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう

こいけ・くにお 1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙を広める運動をつづける。日本絵手紙協会名誉会長。